

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

とえだ

Soeda
Public
Relations



心臓破りの石段が待ち構える 英彦山参道駆け上がり大会

(◎詳細は 10 ページ)

SEP.2024

9

No.755

クラブ 元気倶楽部

65歳以上の人々が気軽に集まり、健康体操やレクリエーションなどのふれあいを通して、心身機能の維持向上を図ります。また生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げることで、地域の介護予防の拠点として、身体的フレイルや社会的フレイルの予防を行います。

▶利用対象者

65歳以上の町内
在住者

▶実施場所

町内22か所の地
区公民館など



トランポリン教室

一人用の小型トランポリンに手すりが付いた「ケアトランポリン」というトランポリンを使って、「歩く」「弾む」という動作を中心に、脚の筋力強化、心肺機能の改善を行います。足腰の弱さが気になる人や骨粗しょう症でお悩みの人におススメです。

▶利用対象者

65歳以上の町内
在住者

▶実施場所

ふれあいの館そ
えだジョイ2階



ストレッチ教室

コンディショニングボールなどを使い、全身をストレッチをして「痛みの予防」と「姿勢の改善」を行います。ゆったりとした音楽を聴きながらマッサージも行いますので、体の凝りがほぐれ血液の流れが良くなり、自律神経のバランスも整います。

▶利用対象者

65歳以上の町内
在住者

▶実施場所

ふれあいの館そ
えだジョイ2階



レイル、うつ状態や軽度の認知症の状態などの精神・心理的フレイル、独居や引きこもりなどの社会的フレイルと、大きく3つに分けられます。

フレイルは自分の状態と向き合い、予防に取り組むことでその進行を緩やかにし、健康に過ごせていた状態に戻すことができます。

たんぱく質



を取りバランスのよい食事をする「栄養」に関する予防のほか、トランポリン教室や若返り教室などで行っている筋力を増加させる運動など「身体活動」に関する予防と併せ、教室に通ったりボランティアに参加したりすることで人や地域とのつながりを持つ「社会参加」に関する予防に取り組むことが重要になります。

**ポイントを貯めて
お得に介護予防**

介護予防ポイント制度は

元気な65歳以上の人が、町が指定する介護予防事業や地域貢献活動に参加したときにポイントを加算して、貯まったポイントが地域お買物券と交換できる、独自の制度です。

介護予防ポイントは次の活動に参加することで貯まります。

▽元気倶楽部▽町が行う介護予防教室▽地域で行っているサロンなど▽老人クラブや婦人会などの団体活動▽介護施設などでのボランティア活動▽文化活動やス

スポーツ活動など、その他町が認める活動。

介護予防ポイントを貯めるには、役場福祉環境課で登録申請を行うと発行される介護予防ポイント手帳を教室やボランティア活動時などに持参し、責任者などから確認印を押してもらいます。貯まったポイントは1月から3月の間に、最大4,000円分の地域お買物券と交換できます。

介護予防ポイントを利用して、お得に健康寿命を延ばしましょう。

利用者 Interview

10年前くらいから若返り教室に通っています。3年ほど前に腰を圧迫骨折してしまい動けない時期がありましたが、教室に通っていたおかげで筋肉に余力がありました。1年ほど療養して、また教室に通い出したときは運動がきつかったのですが、療養前からの友達も助けてくれ、続けることができました。87歳になった今でも楽しく運動ができています。

若返り教室に通う
白石尊子さん



図 役場福祉環境課高齢者支援係 (☎82-1232)

町から始める介護予防

介護予防と聞いても何をしたら良いか分からない、自分にはまだ関係ないと思う人が多いのではないのでしょうか。

町では65歳以上の人それぞれに合わせた健康づくり・介護予防教室を開いています。教室や地域活動に参加するとポイントが貯まり、年間で最大4,000円分の地域お買物券と交換できる介護予防ポイント手帳を使って、気軽にお得に健康づくりや介護予防をしましょう。

45・66%。3,824人。

令和6年4月1日時点での町の高齢化率と65歳以上の人口です。8,424人の人口に対し、約2人に1人が65歳以上の添田町。20年前の平成16年は、人口12,764人のうち65歳以上の人口は3,814人で比較すると人口は4,340人減少していますが65歳以上の人は10人増えています。

少子高齢化の進行により65歳未満の年少人口や生産年齢人口は減少しますが、一方で健康寿命が延伸したことで元気な高齢者も増えています。高齢化が進むと介護が必要な人も増えていきますが、高齢化率などの数字に負けない、今まで以上に元気な高齢者の住む町になるために、介護予防を始めてみませんか。

**健康状態にあった
介護予防教室**

町では県介護保険広域連合から送付された心身に関するアンケートに該当した

若返り教室

つまずく事が増えた、物忘れが気になる、家に閉じこもり気味、物が飲み込みにくくなった、体重が減ってきているなどの、症状が進めば介護が必要となる可能性のある人を対象とした教室です。教室では参加者に合わせた運動のほか、口腔指導、栄養指導も行います。教室は▷学び▷継続▷卒業クラスと参加者の体力レベルに応じて3つのクラスに分かれています。

▶利用対象者 事前調査で該当した人

※介護認定を受けている人は参加できません

▶実施場所

ふれあいの館そ
えだジョイ2階



人が参加できる若返り教室や65歳以上の人ならどなたでも参加できる元気倶楽部や健康体操教室、ストレッチ教室、トランポリン教室、パソコン教室などの様々な介護予防教室を実施しています。体や頭の体操、体の調整をするストレッチ、レクリエーション活動など趣向を凝らしたプログラムで、無理なく楽しいひと時を過ごしながら筋力の維持向上や認知症予防、閉じこもり予防やフレイルの予防に努めています。

教室に通って フレイルも予防

各教室は順次開講していますが、途中からでも参加できます。興味のある人は役場福祉環境課高齢者支援係(庁舎1階①番窓口)まで問い合わせてください。

フレイル(介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態)の効果的な予防にも、教室は役立ちます。フレイルは筋力の低下などで日常生活を送りにくくなる状態の身体的

北海道美深町の児童5人

人が7月30日から8月2日までの3泊4日の日程でホームステイに来町しました。添田町に訪れたのは昨年7月、町の児童が美深町にホームステイした際に受け入れてくれたホストファミリーの子どもたち。今年はお返しに昨年ホームステイに行った児童の家庭がホストファミリーとして受け入れます。30日の夜に添田町役場に到着した美深町の児童たちとの1年ぶりの対面は、最初はお互いに緊張した様子でしたが、すぐに数年来の友人のように打ち解け合い、各家庭へ迎え入れられました。

2日目は町内の施設で様々な体験と一緒に行いました。フォレストアドベンチャー・添田でアスレチック・空中散歩、英彦山スロープカー花駅で英彦山がららの絵付け体験、英彦山神宮参拝、株式会社山口油屋福太郎添田町めんべい工場でめんべいの手焼き体験を、3日目は福岡市内の水族館などを一緒に巡り、交友を深めました。最後の夜に

はホストファミリーが集まった夕食会も開かれ、別れを惜しみました。

8月2日、役場で行われた離別式では「今は昔と違い、SNSなどでいつでも話ができます。遠い九州と北海道ですが、いつまでも友達でいましょう」と誓い合いました。ホームステイの受け入れなど貴重な体験をした児童たち。家族と協力して、美深町の児童と一緒に生活した4日間は、一生忘れられない大切な宝物となったことでしょう。

夏の思い出

美深町教育交流(ホームステイ)受入事業

図 まちづくり課まちづくり推進係 ☎82-5965

集

団での活動・生活を通して子どもの成長を促す添田SUMMERキャンプが8月19日から山口県秋吉台青少年自然の家で行われ、町内の小・中学生22人が3泊4日の冒険に挑戦しました。秋吉台と言えは鍾乳洞。3億5千万年かけてできた鍾乳洞などの成り立ちについて学習した後、実際に特別天然記念物「秋芳洞」の内部へ。児童たちは薄暗い洞窟の中、初めて見る鍾乳石の光景に興奮気味で洞窟の生物を探するなど、大盛り上がりでした。

2日目はまき割り火起こし係、飯ごう係、食材用意係に分かれて夕食のカレー作り。不慣れな手つきでも慎重に食材を切り分けたり、飯ごうの水加減をみんなで考えたりしながら美味しいカレーが完成しました。夜はドキドキの肝試し。草原を歩いていると草陰から出てくるたくさんのお化けに、秋吉台には悲鳴が響き渡りました。

3日目はマス釣り体験のあと、洞窟探検で天然記念物「景清洞」へ。探検コースで

◎夏が来るたび思い出す

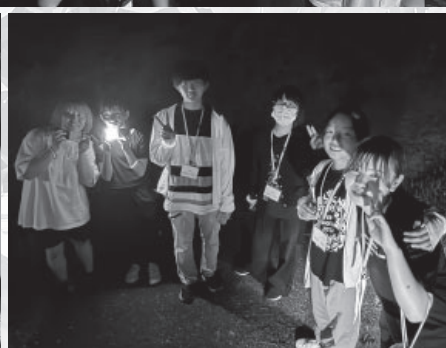
心に刻んだ

添田SUMMERキャンプSOEDA in 秋吉台青少年自然の家

図 社会教育課社会教育係 ☎82-2559



は暗闇の中をヘッドライト一つで探検。低い天井の中、みんなで手をつなぎ声を掛け合いながら奥まで到着。ライトを消すと光が全くない無音の空間が広がる、非日常を体験しました。洞窟探検の後はBQ。デザートにマシユマロも焼き、お腹はパンパンに。最終日は世界遺産「松下村塾」の見学や陶芸体験などの文化活動を行いました。共同生活が進むにつれ、困り事を自主的に手伝う児童が増え、その成長が目に見えて分かる4日間となりました。



令和6年10月分(12月支給分)から児童手当制度の一部が変わります

支給対象や支給月額などが拡充されます

令 和6年10月分(12月支給分)から児童手当制度の一部が変わり、支給対象や支給月額の拡充とあわせ、所得制限の撤廃、支給回数が年3回から年6回へと変わります。

●児童手当の変更点

- ▶支給対象の拡大 現在の中学校修了までから18歳年度末までに変更
- ▶所得制限の撤廃 対象児童を養育している家庭は所得に関わらず児童手当を受給
- ▶支給額の変更 第3子以降は年齢に関係なく月額3万円
- ▶第3子加算の延長 子どもとして数える期間が18歳年度末から22歳の年度末までに延長
- ▶支給回数 年3回(6、10、2月)から年6回(偶数月)へ



☎ 役場健康子育て応援課子ども育成・支援係(☎82-5964)

●新たに手続きが必要な人

次に該当する人には9月下旬に案内を送付します。案内にしたがって申請してください。

▷令和6年10月1日時点で、中学生以下の子を養育しておらず、高校生年代(平成18年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた子)の子どもがいる人 ▷所得制限で支給対象外となっている人 ▷0歳から18歳(高校卒業まで)の児童を養育している人のうち、大学生年代(平成14年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた子)までの児童を養育している人で、かつ、子が3人以上いる人

※上記に該当する公務員の人は、勤務先に問い合わせください。

※申請は令和6年10月31日までに行ってください。

令和7年3月31日まで受け付けは可能ですが、10月31日以降の受け付けは支給開始月が遅れます。

改正事項	改正前(9月分まで)	改正後(10月分から)
支給対象	中学校まで	高校生年代(18歳到達後最初の年度末)まで
所得制限	あり	なし
第3子計算対象	高校生年代まで	大学生年代(22歳到達後最初の年度末)まで
手当月額	▷3歳未満 15,000円 ▷3歳から小学校修了まで 第1子、2子 10,000円、第3子以降 15,000円 ▷中学生 10,000円 ※支給は中学生まで。 ※特例給付は年齢を問わず5,000円。	▷3歳未満 第1子、2子 15,000円、第3子以降 30,000円 ▷3歳以降 第1子、2子 10,000円、第3子以降 30,000円 ※支給は高校生年代まで。
支給回数	年3回(6・10・2月)	年6回(偶数月)

確定申告が不要となるときがあります

年金の扶養親族等申告書

日 本年金機構から所得税が課税される額の年金を受給する人に「年金の扶養親族等申告書」が9月中旬より順次発送されます。この申告書を正しく記載し、提出することで所得税や住民税の控除を受けることができ、確定申告が不要となるときがありますので、提出をお願いします。

適用できる控除が分からないときは役場住民課保険年金係に相談ください。また、申告書の記載

方法などは扶養親族等申告書ダイヤル(☎0570-081-240)でも相談できます。

▶申告する「控除」の例

▷障害控除 障害手帳などを取得している人が対象。障害の等級により特別障害控除、普通障害控除があります ▷配偶者控除 所得が基準未満の配偶者を扶養しているときに受ける控除 など
☎ 役場住民課保険年金係(☎82-5966)



9月20日
～26日は

動物愛護週間です



かわいいわんちゃんやねこちゃん。ペットは私たちにとって無償の愛を与えてくれる、かけがえのない家族です。9月20日から26日は皆さんに動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めてもらう動物愛護週間です。今月は愛犬を散歩するときのルールやマナー、野良猫に餌やりをするときの注意と覚悟についてお知らせします。

野良猫への注意

飼い主のいない猫、野良猫は栄養価の高い餌を与えられると健康状態や繁殖能力が向上し、増えていきます。野良猫が増えると、ふん尿やごみあさりなど衛生面での問題が引き起こされます。「かわいそう」という気持ちで猫に餌を与えていても、ルールを守らなければ、地域から嫌われる猫をつくりだすことになります。餌を与えるのなら、次の事項を必ず行ってください。

放置はダメ! 置き餌をしない

えさを放置すると虫がわいたり、カラスが集まったりするので不衛生です。無責任な餌やりにより野良猫の増加につながります。



野良猫を増やさないために 不妊去勢手術をする

猫の妊娠期間は約2か月で、一度に平均5頭出産し、その約2か月後には次の妊娠が可能です。子猫も生後6か月前後で繁殖可能年齢に達するので、繁殖サイクルが非常に速く、1匹のメス猫から3年後には2,000頭以上に増える可能性があります。あすなる猫事業などを活用して、不妊・去勢手術を行いましょう。

近隣トラブルに発展 ふん尿の清掃をする

ふん尿の放置は、近隣の人に不快な思いをさせるだけでなく、地域の衛生環境の悪化につながります。



人と猫がよりよい社会でともに生きていくためには、引き取って「飼い猫」として最期まで世話をすることです。または、野良猫が増えないよう不妊去勢手術を施し、近所の人に理解を求めながら餌の管理やふん尿の世話などを行い、最期まで見守る「覚悟」を持って世話をすることです。それができない人は、「野良猫」への無責任な餌やりはやめましょう。



☎ 役場福祉環境課環境保全係(☎82-1232)

犬の散歩時の注意

絆を深めるだけでなく、運動不足解消にもつながる愛犬との楽しい散歩。地域で愛される犬になるために、最低限、次の事項を守りましょう。

迎えてすぐに 犬の登録と狂犬病予防接種

犬についての戸籍であり、住民票でもある「鑑札」。生後91日以上、または犬を取得して30日以内に役場福祉環境課で登録手続(費用3,000円)を行い、交付を受けましょう。また、発症すると100%に近い致死率の狂犬病を予防するために毎年予防注射を受け、「注射済票」の交付を受けましょう。「鑑札」と「注射済票」は首輪に着けておくと、迷い犬になったときなどに飼い主のもとに帰ってくる可能性が高まります。

近隣トラブルに発展 トイレマナー

ふん尿の放置は、近隣の人に不快な思いをさせるだけでなく衛生環境の悪化につながります。散歩中にトイレをしたとき、ふんは袋に入れて持ち帰り、尿はきれいに洗い流しましょう。

愛犬の命を守る ノーリードで散歩をしない

リード(引き綱)なしでの散歩は、人に襲い掛かったり、交通事故にあったりする危険が高まります。県では犬を放すことは禁止されています。必ずリードをつけましょう。



あすなる猫事業

福岡県獣医師会では野良猫の不妊・去勢手術の支援を行っています。飼い猫は対象外です。

▶申込方法 インターネット(https://fukuoka-neko.com/)で申し込み

▶申込対象 県北地区に住所を有し、動物病院へ猫の搬送ができる人

▶費用 メス1頭11,000円、オス1頭5,500円

▶応募期限 10月1日(火)まで

☎ 白木原動物病院(☎42-1006) 済城動物病院(☎46-1112)



↑ホームページはこちら





夏の初めに中元寺が大にぎわい

中元寺っ子まつり

7月27日、中元寺小学校で地区の子ども会が合同で中元寺っ子まつりを開きました。グラウンドでは保護者や地元の町消防団第3分団の団員たちが焼きそばや焼き鳥、ポテトなどの露店を出店し子どもたちに振る舞います。最後は参加した児童約50人全員で手持ち花火を行い、色とりどりの火花が夜空を彩りました。



↑手持ち花火に一緒に火をつけると夜空が明るくなりました

添田町 e s p o r t s C U P 開催

町デジタル体験教室

8月18日、ビデオゲームでの対戦をスポーツ競技として捉えるeスポーツの体験教室がオークホールで開かれました。この日は車を駆使し得点を競う人気ゲーム「ロケットリーグ」で4人vs4人のチーム戦を行いました。児童と一緒に保護者も入った対戦は実況も行われ、ゲームを初めて見る観戦者まで楽しめました。



↑「ロケットリーグ」は大人も子どもと一緒に楽しめます

夏休みにキレイでかわいい作品を制作

添田町立児童館

町立児童館で夏休みの工作教室が開かれました。7月20日には貝殻やガラスなどで飾った、夏らしいサマーリースを、8月3日には液体状のレジン液に紫外線をあて硬化させ加工するレジンアクセサリーを作りました。工作教室のほかにも茶道教室や卓球教室、筆ペン教室などが開かれ、連日多くの児童でにぎわいました。



↑色とりどりのサマーリースができました

雨にも負けない盛り上がりのマルシェ

BRTそえだ駅前にぎわいマルシェ

8月24日、BRT開業1周年を記念して添田駅前でBRTを活かしたにぎわいづくり実行委員会主催のマルシェが開かれました。わたがしや射的、惣菜、ビールなど子どもから大人まで楽しめるお店がたくさん。イベント後半は雨が降り出しましたが、炭坑節を踊ったりじゃんけん大会があったりと、にぎやかな時間になりました。



↑にぎわいをみせたマルシェ。みんなで輪になって踊った時間も

将来を見据えて計画的な資金準備を

添田町男女共同参画推進セミナー

8月10日、FP事務所シナリオ代表の吉田麗子さんを講師に迎え、将来設計に関する男女共同参画推進セミナーがオークホールで開かれました。吉田さんは「変化の大きい今の時代には、様々な利用できる制度を知り、目標を持って少しでも計画的に資金の準備を進めることが大切です」と参加者に伝えていました。



↑家計管理以外に老後費用や資産運用の話もありました

一緒に料理をすると楽しいね！！

親子料理教室

オークホールで7月27日、31日に親子料理教室が開かれました。27日はキーマカレーとナンを作りました。具材を切った後に炒めていく児童たち。あまりフライパンを持ったことがない子も火加減を気にしながら上手にできました。31日はパン作りが行われ、ピザパンやハムロールなどのパンを親子で協力して作りました。



↑2時間の教室で10個のパンを焼き上げました

歓遊舎ひこさんが昆虫の駅に

カブトクワガタくじ引き大会・大きさ自慢大会

7月27日、道の駅歓遊舎ひこさんのロビーで「第10回カブトクワガタくじ引き大会」が行われました。カブトムシやクワガタが入った500個もの景品が用意されたくじ引き大会は始まる前から長蛇の列ができ、大盛況。午前中にはすべての景品がなくなりました。午後は「第1回大きさ自慢大会」が開かれ、自身で育てたり採ってきたりしたクワガタやカブトムシの大きさを競う大会が開かれました。クワガタの部の初代チャンピオンは、この大会のために長崎県までクワガタを採りに行き71.3mmのヒラタクワガタを持参した、松永旭弘さん（北九州市）が勝ち取りました。



↑「第1回大きさ自慢大会」でクワガタチャンピオンの松永さん④とカブトムシチャンピオンの内田さん④

「木育」を通じ林業振興に貢献

福岡県林業研究グループ連合会表彰

長年、筑豊地区女性研究グループの役員を務める荒木光子さんに、県林業研究グループ連合会から感謝状が贈られ、8月1日、寺西町長に報告に訪れました。筑豊地区の林業発展や女性ならではの発想で早くから「木育」に注目し、小学生を対象とした木に関するイベントを主催したことなど、森林、林業の普及に尽力したことが評価されました。荒木さんは「木育には環境を守ることや暮らしに木を取り入れること、そして子どもの心を豊かにする教育など色々な取り組みがあります。今後も特に子どもたちへの森林学習、木育に努めていきます」と笑顔で話してくれました。



↑筑豊地区女性研究グループで荒木さん④と一緒に活動する末永文江さん④と寺西町長④

津野に響き渡った津野盆踊り唄

津野地区盆踊り大会

8月24日、津野小学校で津野地区の盆踊り大会が開催されました。津野おやじの会の皆さんや津野地区をモデルに行われている小さな拠点事業に関わる皆さんが地域住民へ呼びかけ、この日は100人以上が集まりました。19時の開会前に降り続いていた雨は、「英彦の山から流れて落ちて落ちて流る津野の川～」から始まる津野盆踊りの口説きが始まると止み、空には星も。焼きそばや鶏の炭火焼きなどの出店もあり、美味しい匂いに包まれた会場は、炭坑節や添田音頭、津野音頭なども参加者で踊られました。最後には打ち上げ花火も上げられ、楽しい一夜をすごしました。

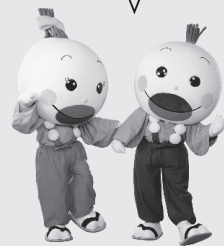


↑(上段)小学校玄関前で踊られた津野盆踊り(下段)大会終了後に参加者で記念撮影

10月 生まれのお子さん 大募集！



10月生まれの
締め切りは
9月13日(金)です。



未就学児のお子さんの写真を募集しています

お子さんの写真をお祝いのメッセージと一緒に、広報そえだに掲載しませんか

- ①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方
- ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先をEメールで送信してください。

送信先

koho@town.soeda.fukuoka.jp

問 役場総務課広報・秘書係(☎82-4000)



地域子育て支援センター

9月の予定

★サークル「めだかつこ」(毎週火曜日)

- ▷10日/ヨガ講座(in児童館)
- ▷17日/ペタンアート(給食)
- ▷24日/運動遊び(給食)

★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日)

- ▷6日/敬老の日プレゼント製作
- ▷13日/7・8・9月生まれの誕生日会&ミニ運動会
- ▷20日/親子健康教室・おっぱい相談
- ▷27日/虹の会読み聞かせ

★ベビーサークル「あっぷっぷ」

- ▷11日
- ▷25日/虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」

- ▷12日

◀10月の予告▶

- ▷16日/いちごくらぶコンサート(inオークホール)

※詳しくは「おんぶにだっこ通信」をご確認ください。

☎ 添田町地域子育て支援センター (☎85-0888)

まちかど特派員投稿

栂田地区はリュウゼツランの宝庫！？

栂田行政区 藤川良司区長からの投稿です



↑旧栂田駅ホームの端で、空に向かって真っすぐ伸びたリュウゼツラン

J R日田彦山線旧栂田駅構内にあるリュウゼツランの花が数十年ぶりに咲いて、地域話題になっています。私が昭和40年ころ高校に通学しているとき、駅のホームの端にアロエのオバケみたいなのが植えられていたのは記憶にありますが、その後、花が咲いたなどの噂は聞きませんでした。一昨年、同じ栂田地区にある田中さんの庭のリュウゼツランが咲いたと聞きました。時代は平成、令和となり昨年には鉄道からBRTに運用が変わって、栂田駅のホームも見向く人がいなくなりましたが、7月の終わりにこの場所でリュウゼツランが数十年ぶりに咲いたことが、鉄道運用廃止後、BRTへ移行したことを喜んでいただいていると思います。



まちのホットNews

144人の強者が神宮参道を駆け上がる 英彦山参道駆け上がり大会

山の日8月11日、英彦山参道駆け上がり大会が開催されました。英彦山神宮奉幣殿の再建400年を記念し山の日が制定された平成28年からコロナ禍での中止をはさみ6回目となる駆け上がり大会。スタートの銅鳥居から始まるビル50階にもなる高低差160メートルの参道石段は、ゴールの奉幣殿に近づくにつれ段差が高くなり、参加者に試練を与えます。苦しんだ末、ゴールするとそこには町観光大使の熊谷真実さんが。選手一人ひとりにねぎらいの言葉をかけ、水を配布。表彰式では寺西町長、内野大会実行委員長とともに記念品を渡しました。



↑表彰式で記念品を渡す熊谷さん

↓奉幣殿手前の石段。健脚自慢もこの辺りになると歩くランナーが多くなります



↑ゴールした参加者に声をかけながら水を渡す町観光大使の熊谷真実さん

英彦山を舞台に登山競技の全国大会 ありがとうを強さに変えて 北部九州総体2024

8月2日から5日までの4日間、英彦山山系を舞台に令和6年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)第68回全国高等学校登山大会が開催されました。野球やサッカーと違い、競技種目で登山があることを知っている人は多くはないかもしれませんが、参加した生徒は高校生活をかけ練習に励んできました。審査は登山行動に関する項目が50点、テント設営や炊事に関する生活技術、天気図や自然・救急・気象に関する知識、読図技術やマナーなどの項目が50点、計100点で審査され高得点の学校が優勝となります。生徒たちは大会期間中は35℃を超える気温の中、熱中症対策を講じながら英彦山を縦走していました。優勝は団体男子=旭川東高等学校(北海道)、団体女子=長崎北陽台高等学校(長崎県)でした。

↓列をみだすことなく進む、大会3日目の男子隊。登山行動すべてが審査対象です



↑大会2日目、英彦山中を歩く女子隊 ↑縄の張り具合なども対象のテント審査

文芸歳時記

【短歌 投稿】

窓の灯もけぶる小雨の街はずれ

去りがたくして幾度もふり向く

見送りし立場がいつか見送られ

末路は骨か缶ビール開く

少しだけ高くなる空

少しだけ暑さ and らぐ秋の入り口

国をかけ家をかけ争いを好む者多き

天地あやうきに

去年今年君を捜して歩く路

行方知らぬかアカネよ花よ

【俳句 投稿】

階は天狗の歩巾今朝の秋

落雷と雨に降られて大慌て

ぐいつと呑む南無健歩にと秋の水

秋暑し海豚の形の抱き枕

蛸やかつて五右衛門風呂ありし



伊勢村 稔
寺本 芳寛
島津余史衣
伊井寸美子
山本 仁恵

ふるさとの駅にたうきび焼く匂ひ

風優し南部風鈴動かさる

懐かしや蚊遣りの匂い皆の顔

【川柳 投稿】

北岳と南岳とで英彦山です

名産の英彦山陶面素晴らしい

◎10月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

9月13日(金)までに役場総務課に投稿してください。

1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてくだ

さい。

天野ユキ海
立花 克明
柳瀬 満子
原田 順子

問 役場総務課広報・秘書係(☎82-4000)

募集・相談

農地利用最適化推進委員を募集します

▼職務内容

▽毎月開催する総会への出席

▽担当区域の農地利用に関する現場活動 など

▼募集人数 1人(大字津野)

▼任期 委嘱日より令和8年7月19日

▼募集方法 応募または推薦

▼募集期限 9月30日(月)17時

※申込書類は役場農業委員会事務局で配布しています。詳しくは問い合わせください。

農地利用最適化推進委員会事務局

(☎82-1237)

公共職業訓練生(11月生)を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の訓練です。

▼訓練期間 11月1日(金)より令和7年4月28日(月)

▼訓練科名 住環境コーディネーター科/定員12人

▼対象者 公共職業安定所(ハローワーク)に求職を申し込



みしている人

▼受講料 無料(教科書・作業着などは自己負担)

▼申込方法 公共職業安定所(ハローワーク)に申し込み

▼募集期限 10月10日(木)

▼入所選考 10月16日(水)／筆記および面接

●施設見学会・説明会

▼とき 9月17日(火)、10月8日(火)いずれも13時より2時間程度

農ポリテクセンター飯塚

(☎0948-22-4988)

**町内で巡回相談を実施
行政相談月間**

9月1日(日)から10月31日(木)までの2か月間は「行政相談月間」です。町では、3か所です巡回相談を行います。相談は無料で、秘密は厳守されますので気軽に相談ください。

▼津野公民館

10月1日(火)10時より12時

▼彦山地区総合センター

10月1日(火)13時より15時

▼中元寺公民館

10月3日(木)10時より12時

▼相談内容 登記や相続、道路の維持管理や安全対策、年金や税金、行政サービスに関する

こと、くらしの中で困っていることなど



4人の音楽家が滞在して作曲

AIR事業 ミニコンサート

福岡県では、日田彦山線沿線の地域振興のため、AIR(Artist in Residence)事業を8月下旬から開始しています。4人の音楽家が添田町と東峰村の滞在経験をもとに作曲し、その曲を令和7年3月30日(日)に開催する演奏会で披露する予定です。この演奏会に向けた機運醸成のため、ミニコンサートを開催します。当日は、九州交響楽団のコンサートマスターである西本幸弘さんをはじめ、プロの音楽家をお迎えし、生演奏が行われます。入場は無料で、未就学児も入場可能です。

◆とき 9月29日(日) 14時～(13時30分開場)

◆ところ オークホール研修室

●東峰村でも開催します

◆とき 9月28日(土)15時～(14時30分開場)

◆ところ いずみ館



日田彦山線沿線地域振興事業実行委員会
(☎092-643-3180)

いることなど

農 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係(☎82-1232)

養育費・ひとり親110番

ひとり親家庭の人や離婚を考えている人を対象に弁護士による、養育費などに関する集中電話相談を実施します。

▼とき 9月20日(金)12時より15時、21日(土)10時より13時

▼相談方法 電話(☎092-724-2644)

※開催日時のみ利用可能です。

▼相談内容

養育費、離婚や面会交流、離婚後の生活費、共同親権に関



することなど

※相談内容によって、ひとり親サポートセンターによる弁護士相談クーポン(1時間無料相談券)発行の案内を行います。

農 ひとり親サポートセンター飯塚プランチ

(☎0948-21-0390)

保健師・管理栄養士が個別健康相談に応じます

毎年9月は健康増進普及月間です。健康に関する悩みはありませんか。保健師と管理栄養士が相談に応じます。気軽に相談ください。

▼とき 9月25日(水)10時より12時／要事前予約

▼相談内容 夫婦間のもめごとや遺産相続などの家庭内・親族間の問題、不動産、お金の貸し借り、交通事故をめぐるトラブルなど

農 福岡地方・家庭裁判所田川支部(☎42-0163)

**次の一步を応援します
福岡県若者自立相談窓口**

福岡県若者自立相談窓口(若まど)では、次の進路が定まってい

ない若者や保護者からの相談に応じて、必要な情報提供や就労・福祉など適切な支援機



の紹介を行います。一人で悩まず、気軽に相談ください。

▼開所日時 祝日、年末年始を除く毎週月曜日より土曜日の10時より19時(相談受付は18時30分まで)

▼ところ 福岡県若者自立相談窓口(大野城市)

▼相談方法 来所相談、メール

(info@wakamado.net)、電話(☎092-710-0544)、訪問相談

※来所相談は事前に連絡が必要です。

▼相談料 無料

農 福岡県青少年育成課

(☎092-643-3388)

教育のひろば

●来年の春にお披露目

新しい学校にふさわしい校章を

来年4月に開校する小学校(校名:添田小学校)の校章制作を担当する山下良平さんが8月9日に来町しました。山下さんは、神奈川県を拠点に活動している福岡県出身のアーティストで、「躍動」を一貫したテーマに心に響く絵画作品を数多く制作し、「エナジズム」という概念を通して作品が持つ独自の魅力や力強さを表現しています。令和3年に開催された大阪での個展では、人気漫画「キングダム」とコラボレーションした作品が大きな話題となりました。校章の制作は山下さんの絵画とは違うジャンルですが、新しい小学校のためにと快く引き受けてくださいました。

校章制作の参考にするため、午前中は町内小学校を、午後は英彦山を訪れた山下さん。小学校では授業風景や校内に展示されている児童の作品を見学し、英彦山では美しい景色を見たり、深い歴史に触れたりしました。その後、落合学童保育所を訪問し、山下さんの作品が描かれたポストカードを児童全員にプレゼント。また、児童に自由な発想で画用紙に絵を描いてもらい、山下さんからアドバイスをいただくなど、児童にとっても貴重な時間を過ごすことができました。

「新しい時代、学校にふさわしい、児童たちが卒業後も忘れないような校章を」と話す山下さん。どのような校章になるのか、来年の春が楽しみです。



↑山下さん(後列左側)と落合学童保育所の児童たち
児童が描いた絵は山下さんが持ち帰り、校章制作の参考にするそうです

農 教育委員会学校教育課学校教育係(☎82-5963)

人の動き

7月末日現在（ ）は前月比

- | | | | |
|------|-----------------|-----|------|
| ●人 口 | 8,376 人（－13人） | ●出生 | 1 人 |
| ●男 性 | 3,968 人（－3人） | ●死亡 | 19 人 |
| ●女 性 | 4,408 人（－10人） | ●転入 | 22 人 |
| ●世帯数 | 4,405 世帯（－9 世帯） | ●転出 | 16 人 |

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
9月17日(火)、10月1日(火)
- 税理士による無料相談(役場会議室／予約優先)
9月25日(水)（13時30分～）
- ☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）
- 補聴器相談（役場ロビー）
9月11日(水)（13時～）、9月13日(金)（15時～）
- 無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
9月10日(火)、10月8日(火)
- ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
- ☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）
- こころの健康相談(田川保健福祉事務所／予約制)
9月10日(火)（10時～）、9月26日(木)（14時～）
- ☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

警察署からのお知らせ

- 不審者・不審物件の情報提供にご協力ください
- テロを未然に防ぐためには、不審者や不審物件を発見した時の速やかな通報や、いつもと様子が違うなどの異変を感じた時の情報提供が必要不可欠です。
- ≪不審者の着眼点例≫
- ▷カメラやビデオでの周囲の撮影・録音
 - ▷メモや画面の作成、地図への書き込み
 - ▷乗車状態での長時間駐車や周辺徘徊
 - ▷短時間（期間）で同一場所を繰り返し通過
 - ▷薬品やガソリンなどの臭いがする荷物を所持 など
- ≪不審物件を発見したときは≫
- 安易に触れたり移動させたりせずに、110番または最寄りの警察署へ通報をお願いします

7月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	13(±0)	87
人身事故	0(±0)	7
死亡者	0(±0)	0
負傷者	1(+1)	10

☎ 田川警察署（☎ 42-0110）

納期限のお知らせ

- 9月30日(月)が納期限です
- ▷固定資産税（3期）
 - ▷国民健康保険税（3期）
 - ▷後期高齢者医療保険料（3期）
- 座振替は9月25日(水)です
- ☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

- ☎ 強度行動障がい支援者養成研修
- ▼とき 11月16日(土)、23日(土)、12月7日(土)、14日(土)9時30分～16時30分
- ▼ところ ミレ・ジョブカレッジ飯塚校
- ▼対象 ひとり親家庭の父母、寡婦、離婚を考えている人でこの資格を活かして就業や転職を希望している人
- ▼定員 8人
- ☎ 福岡県生涯現役チャレンジセンター内「ふくおか子育てマスター」コーナー
（☎ 092-481-1312）
- ひとり親サポートセンター就業支援講習会

- ▼受講料 無料（テキスト代の一部3千円は自己負担）
- ▼託児 無料／要事前予約
- ▼申込締切 10月29日(火)必着
- ☎ 福岡県ひとり親サポートセンター就業支援強化事業受託会社 マンパワーグループ株式会社
（☎ 092-741-9531）
- 能登半島地震義援金募金ありがとうございました
- 「令和6年能登半島地震」への義援金募金に対し、多くの皆様に心温まるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。募金箱を設置した1月9日から6月30日までにお預かりした募金は次のとおり

- ▼募金総額 116万6738円
- ☎ 役場総務課総務係
（☎ 82-1231）
- かわさきパン博2024
- パン好きさんたちに大好評のイベントを今年も開催します。
- パン屋、パンのおとも、グルメ、雑貨・ワークショップなど90店以上が出店。イベント限定のパンや木育キッズスペースもあります。おいしいパンと楽しいひと時をお過ごしください。
- ▼とき 10月6日(日)10時30分～15時

- ▼ところ 川崎町民会館・川崎町中央体育館・川崎町役場駐車場周辺
- ※駐車場情報やイベントの詳細は、公式ホームページやSNSで確認ください。
- ☎ かわさきパン博実行委員会事務局（☎ 72-3000）
- 【8月9日(金)開催 総会審議結果】
- ▼農地法第3条にかかる所有権の移転
・ 1件／面積86㎡を許可
 - ▼農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定
・ 面積13282㎡を許可
- ※10月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、9月25日(水)です。
- ☎ 添田町農業委員会（☎ 82-1237）

- 添田町社会福祉協議会へ
- ▼香典返し ▼㊧緒方裕子（英彦山）▼㊧有川美鈴（下津野）▼㊧伊藤安子（峰地団地）
（令和6年8月14日現在）
- ありがとうございます
（敬称略）
- 務局（☎ 72-3000）

- 営業を再開します
- 「ひこさんホテル和」予約受付中です
- 現在休館中のひこさんホテル和は、10月19日(土)から営業を再開する予定です。「四季折々の美しさ、大自然が織りなす、ひこさんホテル和」をコンセプトに、休館前と同様に立ち寄り湯やランチ営業、宴会も再開します。現在、ホームページと電話で予約を受付中です。町内居住者や団体は割引サービスがありますので、ぜひご利用ください。

- 自衛官等採用試験
- 【防衛医大看護学科学生】
- ▼試験日 10月12日(土)
- ▼受付締切 10月2日(水)
- 【防衛医大医学科学生】
- ▼試験日 10月19日(土)
- ▼受付締切 10月9日(水)
- 【防衛大学】
- ▼試験日 11月2日(土)
- ▼受付締切 10月17日(木)
- ※受験資格はいずれも日本国籍を有する18歳から21歳までの人です。試験会場など詳しくは問い合わせください。

- い合わせください。
- ☎ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所
（☎ 0948-22-4847）
- 介護に関する入門的研修
- 介護制度の概要や基本的な知識・技術から介護の専門性、リスク予防など現場で必要な知識・技術まで学びます。
- ▼とき 10月1日(火)、4日(金)、8日(火)、11日(金)、18日(金)
- ▼ところ 飯塚研究開発センター
- ▼対象者 介護未経験で5日間の研修にすべて参加できる人

- ▼定員 50人／先着順
- ▼受講料 無料
- ▼申込方法 ①グーグルフォーム ②FAX ③郵送
- ↑グーグルフォーム
- ▼申込期限 9月17日(火)
- ☎ 福岡県社会福祉協議会施設・人材・研修部福祉人材センター
（☎ 092-584-3310）
- ふくおか子育てマイスター認定研修会
- 子育て支援の基礎を踏まえ、子どもや親のこと、安全なことなど、子育てをあらゆる面から学ぶ研修会です。
- ▼とき 10月3日(木)、4日(金)、9日(水)、11日(金)、15日(火)、16日(水)、24日(木)
- ▼ところ イイヅカコミュニケーションセンター
- ▼対象者 福岡県在住で地域の子育てを応援したい60歳以上の人
- ▼定員 30人／先着順
- ▼受講料 無料
- ▼申込方法 ①ウェブサイトでFAX ③郵送
- ▼申込期限 9月19日(木)
- ※詳しくはホームページを確認、または問い合わせください。
- ↑ホームページ

- 9日(水)、11日(金)、15日(火)、16日(水)、24日(木)
- ▼ところ イイヅカコミュニケーションセンター
- ▼対象者 福岡県在住で地域の子育てを応援したい60歳以上の人
- ▼定員 30人／先着順
- ▼受講料 無料
- ▼申込方法 ①ウェブサイトでFAX ③郵送
- ▼申込期限 9月19日(木)
- ※詳しくはホームページを確認、または問い合わせください。
- ↑ホームページ

- ◆宿泊 1泊2食付13,400円～22,350円（シーズンや部屋、人数によって変動します）
- ◆立ち寄り湯 一般700円、小学生500円、幼児400円
- ※サービス内容は変更する場合があります。最新情報はホームページで確認ください。
- ☎ ひこさんホテル和（☎ 85-0121）

- 一人ひとりの注意が大切です
- 【田川地区消防本部】令和6年上半期火災・救急・救助統計

- 田川地区消防本部管内の、令和6年上半期（1月～6月）の火災・救急・救助の概要をお知らせします。
- 【火災】 火災件数は、42件で昨年より14件増加しています。内訳は建物19件、車両4件、その他19件です。出火原因の1位はたき火、2位は電灯・電話などの配線、3位は火遊びで人的要因により発生した火災が上位を占めています。
- ちょっとした不注意が原因となっていますので火気の取り扱いには十分注意しましょう。
- 【救急】 救急出動件数は3,944件で、昨年よりも117件減少しています。高齢者(65歳以上)の搬送人数が2,601人で全体の73.1%を占め、高い割合となっています。5台の救急車がすべて出動することもありますので、緊急時に救急車が利用できるよう、「#7119」を利用するなど適正な利用にご協力をお願いします。
- 【救助】 救助出動件数は52件で、そのうち救急活動を行った件数は37件、救助した人は20人でした。
- ▶今後も暑い日が続きますので、熱中症や水難事故にも十分注意するとともに豪雨など災害への備えや避難所の確認も忘れずに行ってください。
- ☎ 田川地区消防署（☎ 44-0650）



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soe-da.fukuoka.jp

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

移動スーパー「まごころ」 英彦山地区でも快走中！

♪ 添田よい町
さくらが招くヨー♪

津野地区をモデル地区として、昨年11月にスタートした移動販売が8月6日から英彦山地区でもスタートしました。毎週火曜日に、野菜・果物・惣菜・お菓子・日用品など品揃え豊富な移動スーパー「まごころ」が添田音頭を流しながら英彦山地区を訪れます。1商品ごとに10円の手数料がかかりますが、英彦山地区に住んでいなくても利用可能です。近くまで来てくれる便利な移動スーパー。皆さんのご利用お待ちしております。

◎巡回スケジュール

英彦山地区は**毎週火曜日**です

	販売場所	販売時間
午前	北坂本	10:40～10:55
	英彦山公民館（元気倶楽部）	11:10～11:25
	スロープ花駅下	11:25～11:40
	銅の鳥居下県道沿い駐車場	11:40～11:55

	販売場所	販売時間
午後	別所河内公民館	13:20～13:30
	唐ヶ谷	13:35～13:45
	南坂本バス停前	13:50～13:55
	玉屋河内 釣り堀入口前	14:00～14:15
	彦山駅前	14:20～14:35
	昭光寺上空き地	14:40～14:50
	落合小学校下	14:55～15:05

町長室

▼残暑厳しい9月、実りの秋ももうすぐです。▼先月号の続きで添田町第5次総合計画（2010年～2020年）から繋いだ添田町第6次総合計画（2021年～2030年）の取り組みです。10年を前期と後期に分けて、そして繋げていきます。▼2021年度～2025年度（令和3年度～7年度）の前期5年間としての方向性は、添田町の今の姿を町民だけでなく、添田ファンの方にも知ってもらおう事としています。やるべきこととしては、分野横断型（縦割り）の体制構築と持続可能な協働の仕組みづくりを行う事とし、取り組んでいます。前期の姿としては、交流人口・関係人口が増加しているという結果を目標としています。▼交流人口・関係人口がどう移住に結びつくのかと言えは、これまで無関心・無関与の無関係な人がいろんな情報を受け取り、あるとき添田町の特産品を購入する。そして次にふるさと納税等の寄付を添田町にしようとなります。そうすると、添田町に興味を持つて頂く、頻繁に添田町を訪問する、そして今、制度等が整備されてきています。二地域居住制度に関心を持ち、添田町にちよつと住んでみようかなと試してみる。そして移住・定住へと繋がって行くという段階方式です。▼人々のライフスタイルの多様化、関係性確保の手段としてのSNS等情報通信技術の進化、「関わり価値」と言っていますが、地域やそこに住む人々との関係性を持つことに価値を見出す人々の存在があります。この事が、定住への階段を確固たるものとするのです。そのための環境整備や制度を活用し対応しているところです。▼2021年は、新型コロナが流行し社会生活・町の事業等にも多大な影響を与えました。主要事業として新型コロナワクチン接種事業、朝日ヶ丘団地建替事業、森林環境税整備事業である木材・木育利用推進等を実施しました。▼2022年は、みんなでまちづくり推進事業、彦山駅前整備事業、自然共生型アウトドアパーク（フォレストアドベンチャー・添田）整備事業、英彦山スロープカー車両更新事業、添田小中学校建設事業等。▼2023年は、JR添田駅多目的トイレ・駐車場整備などのBRT運行開始に伴う地域振興関連事業、添田小中学校建設事業、児童を対象としたプログラミング・電子工作教室等のデジタル活用支援推進事業、住宅新築費用・新築建て売り住宅取得費用の一部を支援する若者定住支援事業、みんなでまちづくり推進事業、アピオランスケア推進事業、医療的ケア児在宅レスパイト助成事業、移動販売事業、添田サマーキャンプ事業等。▼2024年は、添田小中学校建設開校準備事業、ひこさんホテル「和」施設改修事業、防災マップ作成事業、スマートフォン教室・eスポーツ体験教室・世代間交流デジタル講座等のデジタル活用支援事業、ホームページリニューアル事業、福岡県植樹祭事業、人手不足対応検討・農福連携等の農業振興検討事業、グラウンドゴルフ場改修事業、全国高校総体登山競技事業、朝日ヶ丘団地建替事業等、着実に進んでいるところです。▼来年度は前期5年の区切りで、再来年度は次の繋がる後期5年間（令和8年度～12年度）となります。2025年はこれまでの事業にさらなる事業を合わせ、当初目的である添田町に関わる人が増えることで、魅力向上・課題解決を図っていきます。▼超人口減少ですが、その中でも添田町は「にぎやかな過疎」を目指して頑張っています。住民の皆様のご協力よろしくお願いします。